

令和7(2025)年7月 就職先(学校・企業等)へのアンケート結果

- 1 目的
今後の教育活動改善等に活用すること
(卒業生の状況把握、就職先の評価、本学の教育等について把握する)
- 2 対象
令和6(2024)年3月卒業生が就職した事業所 … 165事業所
(回答 140事業所)
(対象の卒業生…184名 (大学…116名 短大…68名))
- 3 実施期間
令和7 (2025)年6月27日 (金) ～7月25日 (金)
- 4 実施方法
依頼：郵送 回答：郵送、GoogleForms (併用)
- 5 回収率
67.9% (下表のとおり)

表

	対象者	回答数	回収率
四大 教育福祉学部	116	75	64.7%
短大 ライフデザイン学科	68	50	73.5%
計	184	125	67.9%

【参考】前回(2024年2月)

対象者	回答数	回収率
134	98	73.1%
88	68	77.3%
222	166	74.8%

一般企業、福祉施設等

	対象者	回答数	回収率
四大 教育福祉学部	65	43	66.2%
短大 ライフデザイン学科	35	29	82.9%
計	100	72	72.0%

対象者	回答数	回収率
66	39	59.1%
48	33	68.8%
114	72	63.2%

学校、園等

	対象者	回答数	回収率
四大 教育福祉学部	51	32	62.7%
短大 ライフデザイン学科	33	21	63.6%
計	84	53	63.1%

対象者	回答数	回収率
68	59	86.8%
40	35	87.5%
108	94	87.0%

- 6 その他
当該アンケートは、平成26(2014)年度から実施。

卒業生についてのアンケート [回答用紙]

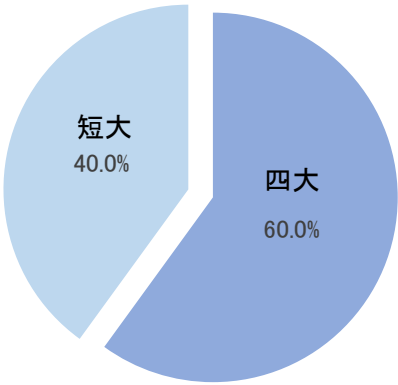


一般企業

事業所名					
所在地	〒	電話番号 — —			
設問 1	対象となる卒業生を選択してください。 1.大学(びわこ学院大学) 2.短大(びわこ学院大学短期大学部)				
設問 2	入社(職)時期を選択してください。 1.令和6(2024)年4月				
設問 3	卒業生の在職状況を選択してください。 1.在職中である → 設問4にお進みください。 2.休職中 3.退職 → 設問5にお進みください。				
設問 4	対象の卒業生について、以下の10項目をどのように評価されていますか。該当する番号を選択してください。(○をつけてください。)				
	項 目	わずかに 身につけて いる	やや 身につけて いる	おおむね 身につけて いる	十分に 身につけて いる
	① 仕事を進めていく上で必要な、専門的知識・技能	1	2	3	4
	② 課題を発見し、解決する力	1	2	3	4
	③ 正しい情報をもとに判断する力	1	2	3	4
	④ 表現力(自分の考えや意見をわかりやすく相手に伝える力)	1	2	3	4
	⑤ 倫理観(社会規範やルールに従って行動する力)	1	2	3	4
	⑥ 主体性(自ら進んで物事に取り組む力)	1	2	3	4
	⑦ 協調性(他者と協調・協働して行動する力)	1	2	3	4
	⑧ コミュニケーション力(様々な他者と円滑な関係を構築する力)	1	2	3	4
	⑨ 学び続ける姿勢(与えられた課題だけでなく、自立・自律して学習できる力)	1	2	3	4
	⑩ 情報活用能力(多様な情報を収集・分析して、効果的に活用する力)	1	2	3	4
設問 5	本学に対するご意見、ご要望をご自由にご記入ください。				

ご協力ありがとうございました。郵送の場合、同封の返信用封筒にてご返送をお願いいたします。

設問1 対象となる卒業生について

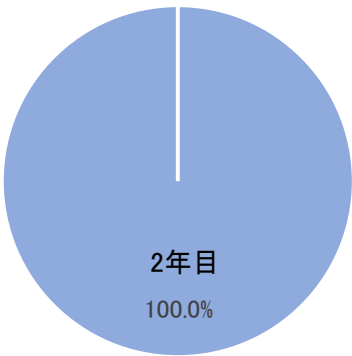


1	四大	60.0%
2	短大	40.0%

【参考】前回(2024年2月)

1	四大	59.0%
2	短大	41.0%

設問2 入社(職)時期について



1	令和6(2024)年4月…2年目	100.0%
---	------------------	--------

設問3 在職状況について

四大	在職	休職中	退職
令和6(2024)年4月… 2年目 (分母…75)	61 88.4%		14 20.3%
計 (分母…75)	61 88.4%		14 20.3%

短大	在職	休職中	退職
令和6(2024)年4月… 2年目 (分母…50)	44 95.7%		6 13.0%
計 (分母…50)	44 95.7%		6 13.0%

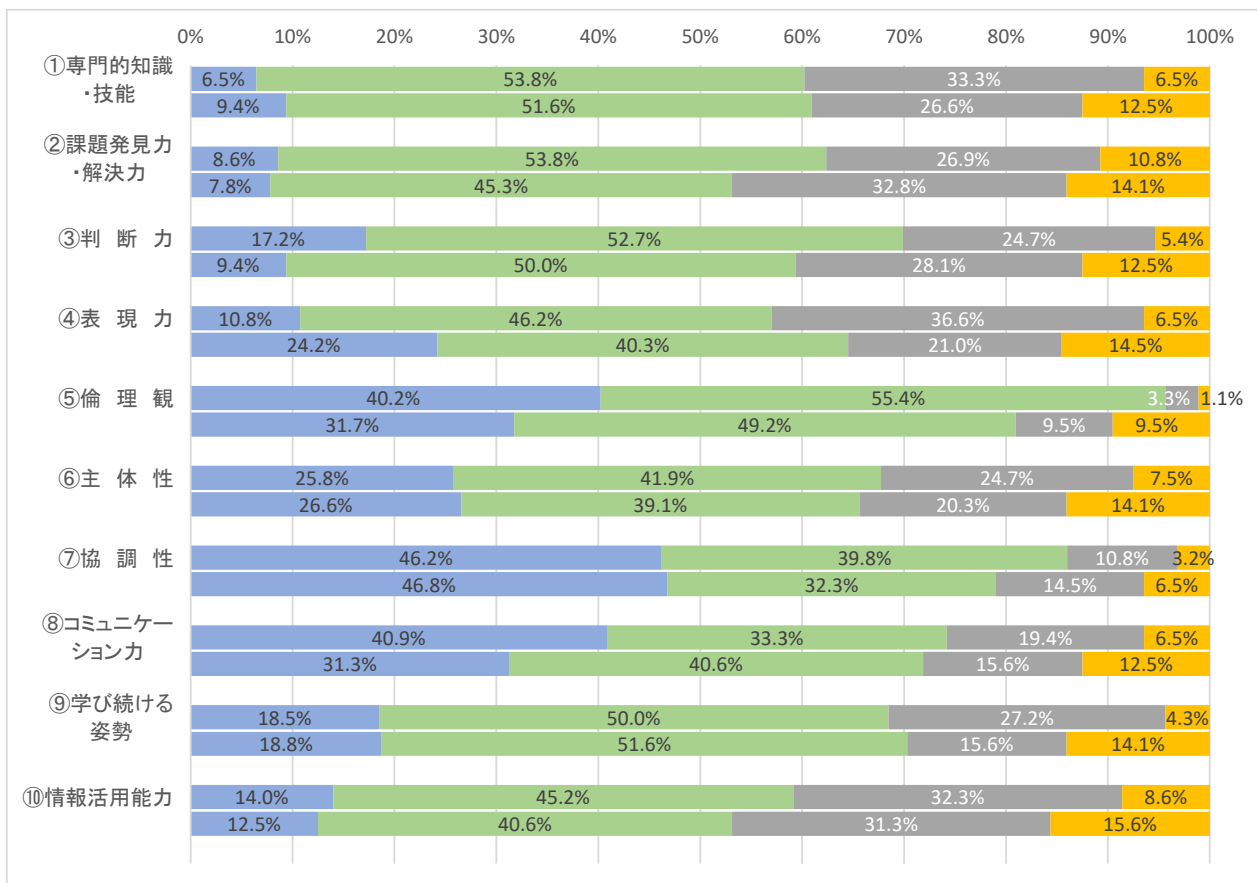
【参考】前回(2024年2月)

四大	在職	休職中	退職
令和5(2023)年4月… 1年目 (分母…57)	55 96.4%	1 1.8%	1 1.8%
令和4(2022)年4月… 2年目 (分母…41)※	38 95.0%		3 7.5%
計 (分母…98)	93 95.9%	1 1.0%	4 4.1%

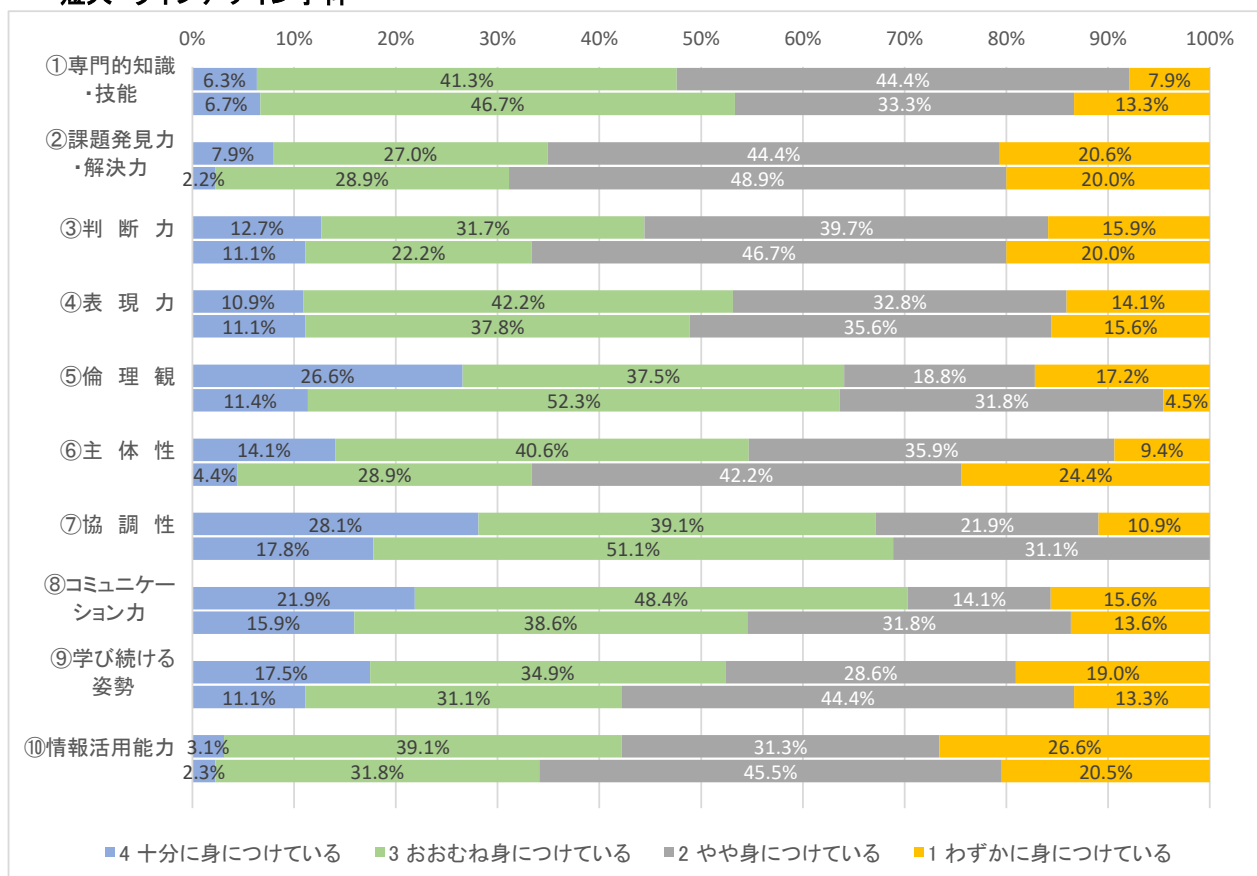
短大	在職	休職中	退職
令和4(2022)年4月… 1年目 (分母…33)	32 97.0%	1 3.0%	
令和3(2021)年4月… 2年目 (分母…35)※	32 91.4%	1 2.9%	2 5.7%
計 (分母…68)	64 94.2%	2 2.9%	2 2.9%

設問4 対象の卒業生について、以下の10項目をどのように評価されていますか。

四大 教育福祉学部



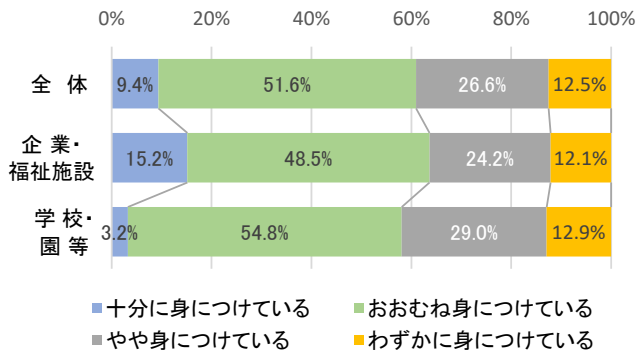
短大 ライフデザイン学科



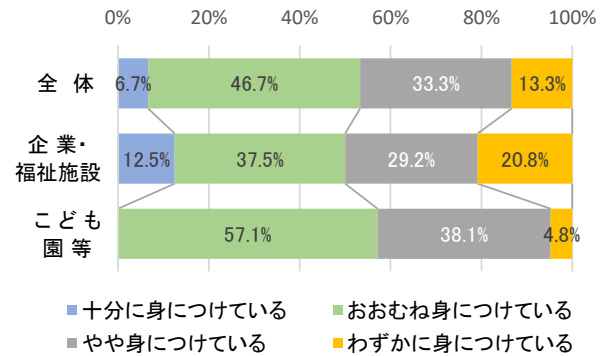
各項目とも、上段が前回(2024年2月)下段が今回(2025年7月)調査の結果

設問4 各設問の内訳

① 仕事を進めていく上で必要な、専門的知識・技能

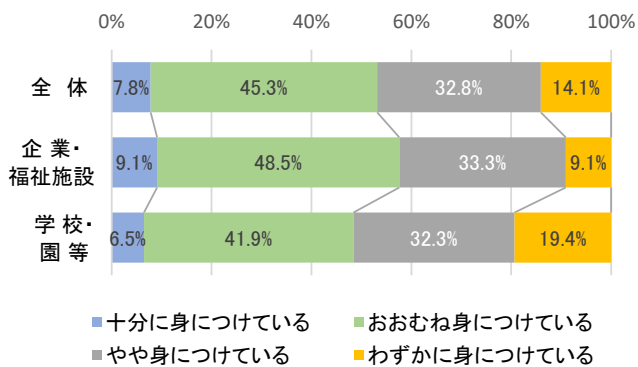


四大 教育福祉学部

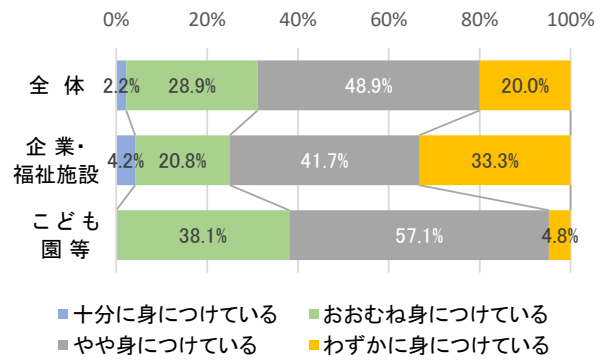


短大 ライフデザイン学科

② 課題を発見し、解決する力

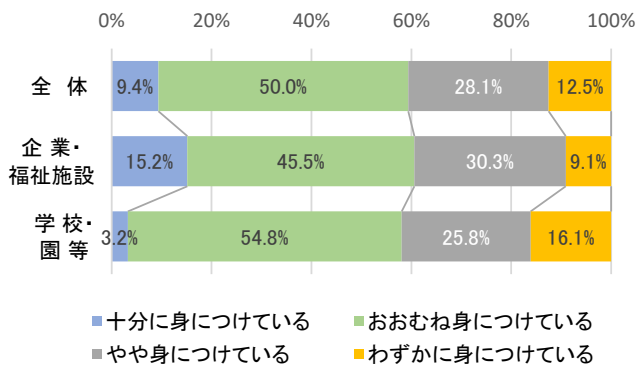


四大 教育福祉学部

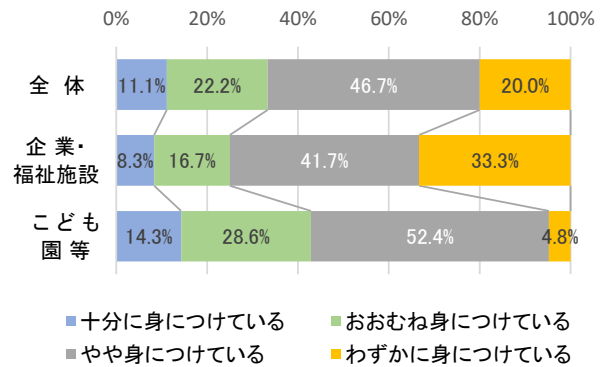


短大 ライフデザイン学科

③ 正しい情報をもとに判断する力

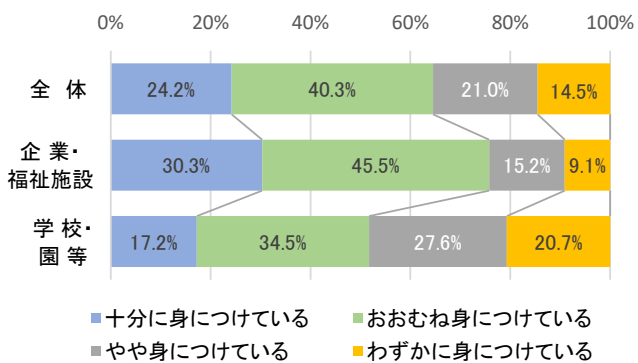


四大 教育福祉学部

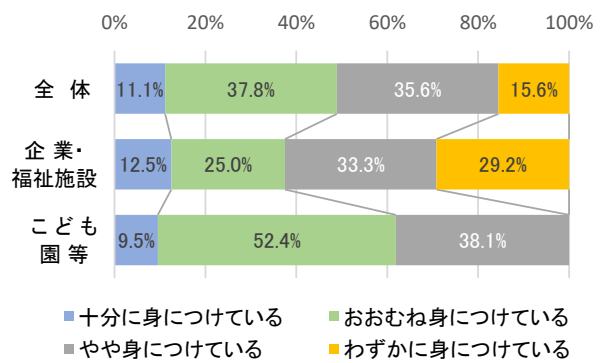


短大 ライフデザイン学科

④ 表現力(自分の考えや意見をわかりやすく相手に伝える力)

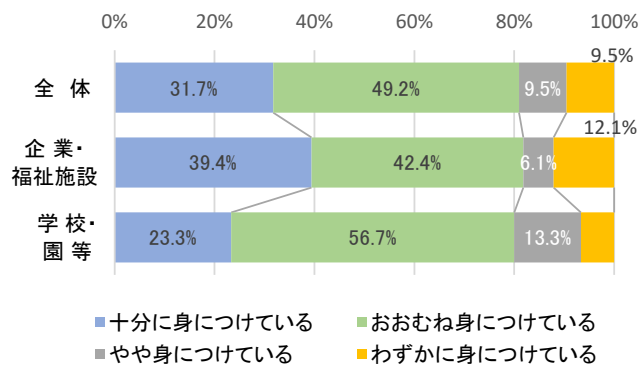


四大 教育福祉学部

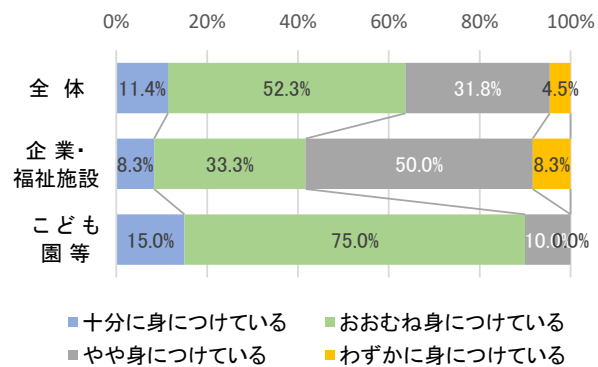


短大 ライフデザイン学科

⑤ 倫理観(社会規範やルールに従って行動する力)

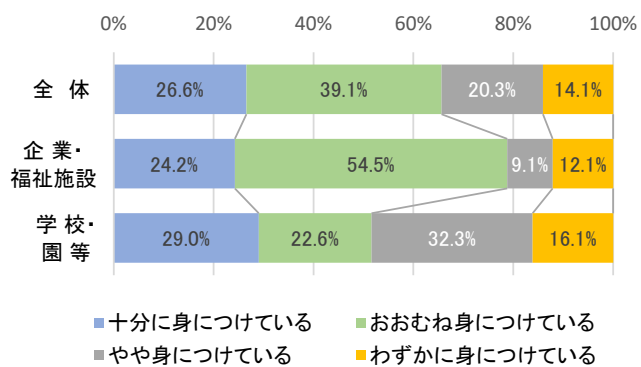


四大 教育福祉学部

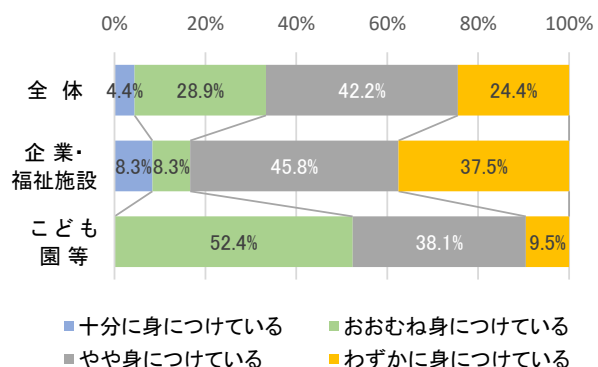


短大 ライフデザイン学科

⑥ 主体性(自ら進んで物事に取り組む力)

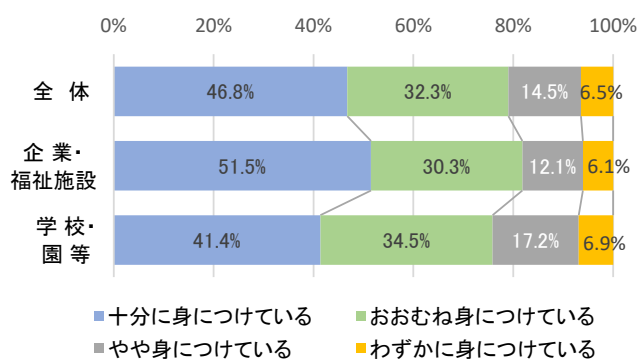


四大 教育福祉学部

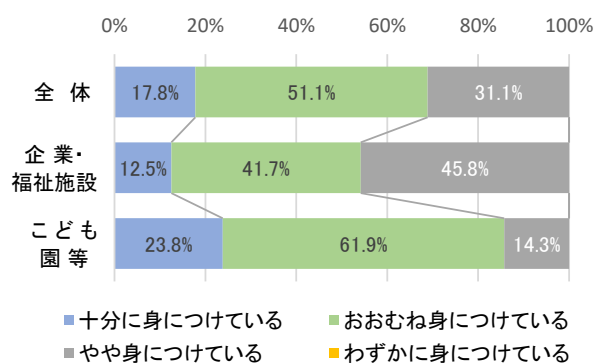


短大 ライフデザイン学科

⑦ 協調性(他者と協調・協働して行動する力)

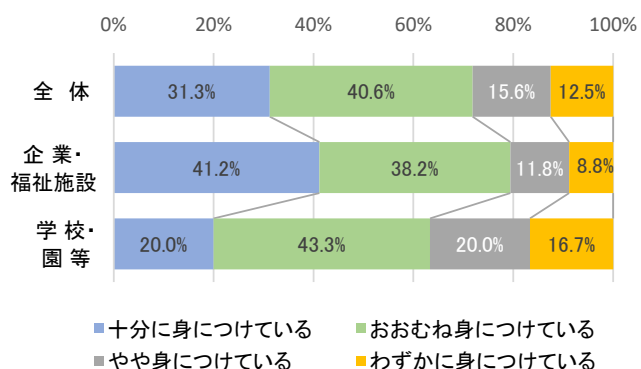


四大 教育福祉学部

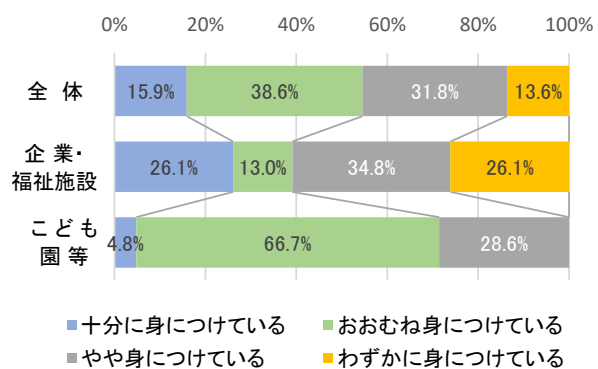


短大 ライフデザイン学科

⑧ コミュニケーション力(様々な他者と円滑な関係を構築する力)

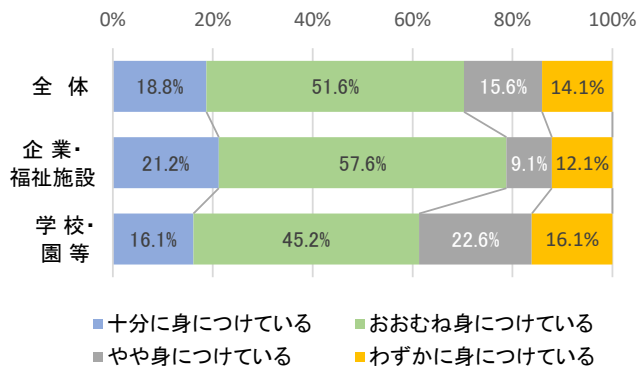


四大 教育福祉学部

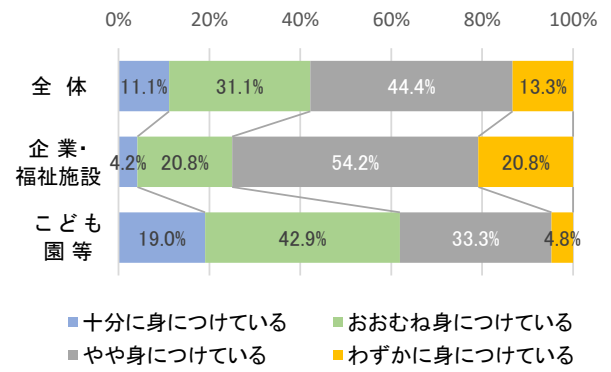


短大 ライフデザイン学科

⑨ 学び続ける姿勢（与えられた課題だけでなく、自立・自律して学習できる力）

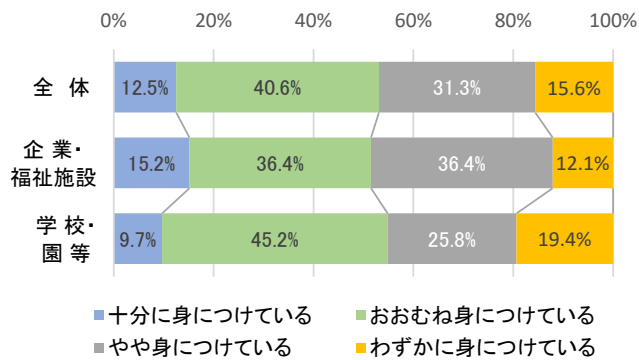


四大 教育福祉学部

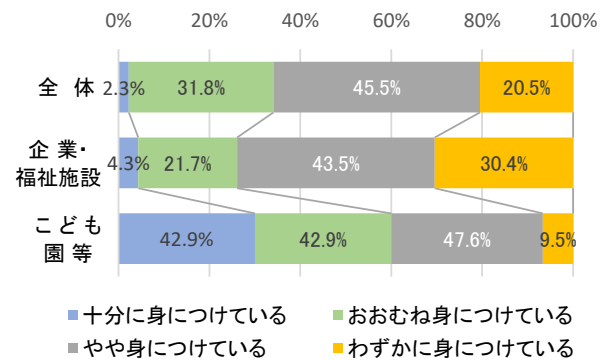


短大 ライフデザイン学科

⑩ 情報活用能力（多様な情報を収集・分析して、効果的に活用する力）



四大 教育福祉学部



短大 ライフデザイン学科

令和7(2025)年7月 就職先(学校・企業等)へのアンケート 総括

平成26(2014)年度から卒業生が就職した事業所(学校・園・福祉施設・企業等)にアンケートを実施しています。回答結果をより教育改善等に活用するため、前回実施分から設問を少し変更しました。多くの事業所の皆さまにご協力いただき、今回も約70%の回収率がありました。キャリア支援委員会を中心にした分析結果を以下に示します。

前回のアンケートでは、四大・短大ともに「⑤倫理観」「⑦協調性」「⑧コミュニケーション」の3項目について高い評価を頂き、今回も四大・短大ともに「⑤倫理観」「⑦協調性」「⑧コミュニケーション」の3項目について高い評価を頂きました。アンケートにご回答頂いた事業所(就職先)は教育(学校・園)・福祉施設・企業等様々ですが、この評価は共通した傾向で、真面目な学生の気質に加え、小規模大学で学生と先生が深く関わり学びあう本学の良さ、学生1人ひとりを大切にする本学の教育成果を示していると思われます。

ただ、高い評価を頂いた項目の中にも気になる点があります。「⑤倫理観」「⑧コミュニケーション」に関する設問で、「4.十分に身につけている」の割合が昨年度より大きく減少し、短大でも、「⑤倫理観」「⑦協調性」「⑧コミュニケーション」に関する設問で、「4.十分に身につけている」の割合が昨年度より減少しました。本学の強みを継続させるため、今後、注意深く見守る必要があります。

全体的な傾向としましても設問4の10項目のうち、「4.十分に身につけている」と「3.おおむね身につけている」を加えた割合が前年より四大で7項目、短大で8項目減少しており、この結果は、真摯に受け止める必要があると感じます。

一方、(学校・園)と(福祉施設・企業)とに分けた各設問の評価では、四大は、ほとんどの設問において(学校・園からの評価)が(福祉施設・企業からの評価)を下回っています。短大では、逆に全設問において(学校・園からの評価)が(福祉施設・企業の評価)を上回っています。この結果は、各学科、コース及びキャリア支援センターにおいてしっかり分析し、今後の教育、支援に活かしていく必要があると思われます。

四大・短大ともに、卒業生に対して概ね良好な評価が得られている一方で、「専門的知識・技能」「課題解決力・解決力」「判断力」「情報活用力」など、実践的かつ主体的なスキルに関して共通の課題が見られました。これらの力は変化の激しい職場環境で特に重視される傾向にあるため、今後は、学生の強みを活かしつつ、課題が示された項目に対して教育的アプローチを多面的に検討し、卒業後も社会で通用する汎用的能力の育成を継続的に進めていきたいです。

最後に、本調査の実施にあたって、回答に協力いただいた皆さんにお礼申し上げます。

今後とも引き続きよろしくお願い申し上げます。